

令和8年度同窓会総会並びに令和7年度新卒者激励会

7月18日（土）17：00よりアキタパークホテルを会場に、令和8年度同窓会総会並びに令和7年度新卒者激励会が行われました。出席者は22名で新卒者は3名の参加でした。事務局から統合後の同窓会について委員会から提示された3つの案の中からそれぞれの学校が単独の同窓会でいく案が提案され、満場一致で可決されました。長年にわたって運営されてきた本校同窓会ですが、統合後は会費が無くなることにより事実上は解散に近いものと予想されますが、関東支部同様今までの繋がりを大切にしていけたらと思っております。長年にわたって運営にご協力いただいた石川会長をはじめ役員の皆様、長い間ありがとうございました。

森元校長からは先日の高校野球についてのお話があり、勝つことで生徒が大きく成長するということ、スタンドで声をからしチーム男工として勝利を目指し戦ったことは男工生としての誇りであるということを実感できた。また、今年度の本校の重点目標である男工プライドとブランド力の強化については、野球部の活躍がまさにそうであったと話された。

新卒者激励会では3名の新卒者が参加し近況を語った。平成8年度電子科卒で秋田県議会議員の瓜生 望さんから激励のことばが述べられ、新卒者は勇気づけられていた。

関東支部同窓会長の古仲充之さんも参加してくれ、今までの関東支部への支援の感謝や、残り少なくなはなったが本校同窓会の益々の発展について激励してくれた。

4度の花園出場を果たした元ラグビー部監督の内藤徳男先生は来賓として参加し、当時を振り返ってのエピソードを語り場内の人たちは会話に引き込まれていた。

先日の夏の甲子園予選では25年ぶりにベスト8に進出したことで、多くの同窓生も球場に駆けつけ熱い声援を送ってくれた。平成2年卒で初のベスト8を成し遂げた当時のメンバーも5名応援に駆けつけてくれた。当時の女子マネージャーだった渋谷（旧姓寺沢）さんと砥上（旧姓原田）さんは同窓会にも参加してくれ、青春時代を思いだし会話に花を咲かせていた。



懇親会終了後に参加者で記念撮影



総会の様子 事務局



内藤先生と菊地副会長



懇親会 開会のことば